

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY Bloom!

東京医科歯科大学広報誌
ブルーム! 増刊号 2006.7



レモンの花
つぼみが淡い紫色をした
レモンの花。さわやかな香りは、
レモンそのものです。夏は
レモネードでどうぞ。

特集「質の高い看護を目指して」

— 東京医科歯科大学医学部附属病院 —

看護師が自ら学び、成長できる環境づくり

落海真喜枝 看護部長 / 小牟田智子 副看護部長 / 重吉睦子 副看護部長

インタビュー

感染管理認定看護師 小野和代 看護師長
救急看護認定看護師 山下直美 看護師長

「認定看護師として」

シリーズ

「看護師チャットルーム」

看護師の日常にフォーカス



付録 都心を歩いてみよう!
御茶ノ水エリアMAP

東京医科歯科大学広報誌 Bloom! (ブルーム) 2006年7月 編集/東京医科歯科大学広報委員会 発行/東京医科歯科大学総務部総務課 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-5803-4530 FAX 03-5803-0272



都心を歩いてみよう! 御茶ノ水エリアMAP

- 1 東京医科歯科大学は、御茶ノ水駅の目の前。
さあ、ここからスタート! 都心をぐるり歩いてみませんか?
- 2 まずは、話題のアキバを視察。
オシャレなビルが続々出現しています。
- 3 御茶ノ水から神保町にかけては各種専門店街。
東京中から買い物が集まっています。
- 4 日本橋ではセブなショッピング。
老舗の百貨店から最新のファッションビルまで。
- 5 丸の内はまさに日本の中心!
歴史ある街並みにブランドショップが立ち並ぶ。
- 6 この辺りには大学も多い。
病院に勤務しながら大学に通っている先輩もいるみたい。
- 7 歩き疲れたら、スパ・LaQuaでリフレッシュ。
勤務帰りにも使えるかも……。

● 看護師募集問合せ先

国立大学法人 東京医科歯科大学
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
医学部附属病院担当/人事部人事課任用第二掛
TEL 03-5803-5098

● 看護部への問合せ先

医学部附属病院 看護部
TEL 03-5803-5666

本学URL <http://www.tmd.ac.jp/>
看護部URL <http://cmi12.med.tmd.ac.jp/nsd/index.html>

質の高い看護を目指して

—東京医科歯科大学医学部附属病院—

看護師が自ら学び、成長できる環境づくり

進化し続ける医療の現場。つい最近までは助からないと思われていた患者さんが、確立されたばかりの新しい治療法によって劇的に回復する、医療の最前線はそんな日々連続である。そんな現場に、患者さんとともに病氣と闘う看護師がいる。ある時は緊急医療のスタッフとして時間との勝負に心血を注ぎ、またある時は術後の患者の回復を支える頼もしいサポーターとなる。医療が高度化する中で、高いレベルが求められる看護師たちの「今」を取材した。



落海真喜枝
看護部長



小牟田智子
副看護部長



重吉睦子
副看護部長

東京医科歯科大学附属病院は、一般医療機関では実施することが難しい高度医療や手術を、先進的な医療体制と充実した施設の中で行うことができる特定機能病院である。むろん急性疾患や重篤な症状に対しても万全の備えが必要とされ、治療を受ける患者さんにとっても医療スタッフにとっても、一瞬一瞬が真剣勝負の最前線である。そんな現場で、看護師はどのように患者さんに応えていくのだろうか。

3年で看護チームのリーダーに 独自の卒業臨床看護研修システム

「確かに、求められるレベルは非常に高いですね。患者さんにできるだけ早く元気になっていただき、一日も早く退院し

ていただくために、どうしたらよいか。当然第一に考えるべきは質の高い医療の提供です。医療技術は日進月歩の世界です。かつては治らなかつた病気が治るようになっていきますから、こうした難しい患者さんへの対応に看護したら良いか、日々学び続けるしかありません。」(落海)

看護職養成機関で学ぶことは基礎の基礎に過ぎず、プロの看護師としての知識や技術の多くは、臨床の現場で学ぶのだという。こうした現状に対応するため、看護師の卒業研修プログラムの充実度は、さすがに世界的競争をつねに視野に入れて改革をすすめる東京医科歯科大学らしいものだった。

「平成13年度から『卒業臨床看護研修システム』がスタートし、入職3年でチ



MDセンター・スキルスラボにおける救命医療研修

ポット制度が設けられている。最前線で働 きながら、常に新しい知識や技術などを学び続けることが宿命づけられている看護師たちにとって、これは大きな魅力だ。

「認定看護師になるには、看護師として少なくとも5年以上の臨床経験が必要で、その中で希望して推薦を受け、さらに

試験を受けて合格し、6ヶ月間学校に通って学ぶことが必要です。当病院では今年5人の希望者が試験を受け、無事合格しました。5名は現在、病院に在籍しながら学校に通い、勉強しています。」(重吉) ただし誰でも推薦できるわけではなく、という。看護師としての実践能力はもちろん、周囲との信頼関係構築、コミュニケーション能力も兼ね備えた人材でない、推薦は難しいそうだ。

「今までは、年間1〜数名程度しか推薦を受けて学校に通えるという人はいませんでした。今年は、看護師の能力向上をテーマに、大幅に増やしました。半年間、スタッフがなくなるわけですから現場は大変ですが、質の高い医療を提供し続けるためには必要なことです。特に当院は大学病院でもあり、教

育は大きな使命ですから。」(重吉) 7月から3次救急医療を積極的に進めており、ハイレベルな看護師の確保・育成が急務となっているということもある。TVドラマの影響で医学生・看護師とも希望の多い分野でもあるが、実際の現場の厳しさは想像を超える。

変わる看護教育 修士課程へのチャレンジも現実的に

「看護教育は、卒業臨床研修(学校卒業後、実際の看護の現場における研修)の充実がやはり重要です。学校教育と、現場で求められることは違いますから。」(小牟田)

この事実を見据え、東京医科歯科大学では、新しい取り組みを始めている。その1つが学部との連携だ。

「臨床に携わる私たちのような看護師が、学部に向いて講師として演習などを指導する取り組みを始めています。これまで、学部の学生が臨床に実習に来ることはあつても、その逆はあまりなかつたのですが、限られた実習時間の中では、不十分だと考えたのです。」(重吉)

そのためか、東京医科歯科大学保健衛生学科から、看護師として東京医科歯科大学附属病院に就職する看護師の数が増えている。去年は22名、卒業生の約40%が入職しているという。卒業を見据えた、一貫した指導体制が高度な医療を支える看護師たちのスキルとモチベーシ

ョンの向上に成果を上げ始めている。

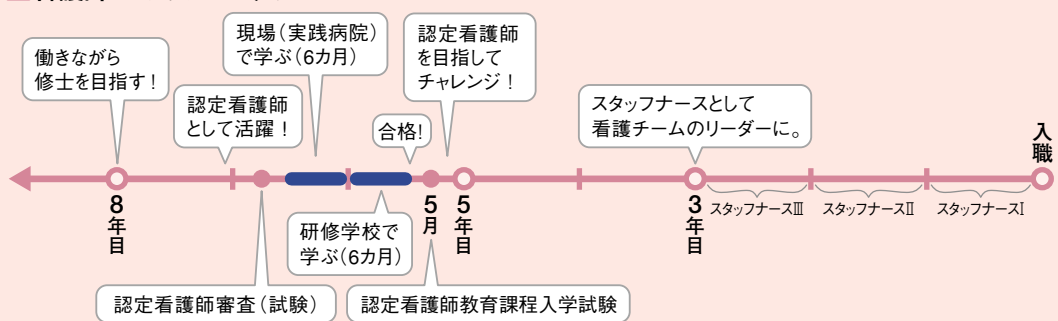
「当病院の強みは、やはり学べる環境だと思います。これは、働く看護師にとっても、また高度な医療サービスを受ける患者さんにとっても結局は有益なことなのです。大学が隣接しているので、大学院の講座や講演会、シンポジウムなど、臨床看護師が勉強のために参加できるプログラムも用意されており、科目履修生として受講することができます。さらに、公開講座ならいつでも気軽に自由に受講できますし、他にもそういうチャンスがたくさんあるので、志の高い方にとってはとても恵まれた環境だと思います。」(落海)

さらに、働きながら修士(大学院資格)取得を目指す人にも朗報がある。「これからです、先ほどお話ししたような臨床看護師が学生に対して臨床実習指導を行った場合、その授業を大



看護部教育委員会

看護師のキャリアスケジュール



学院での取得単位に振り替えることができるような仕組みを検討している最中です。」(落海) 看護学修士取得者は、今後の看護教育の底上げに必要とされる人材だ。し

スペシャリスト「認定看護師」を目指して、在職のまま学ぶ

さらに看護師たちの中には、看護のスペシャリストである認定看護師を目指す人々も多い。この病院には、そのためのサ 3年目には、リーダーとして現場を引っ張る看護師になるというのが頼もしい。実際に、東京医科歯科大学の臨床には、若くても頼りがいのある看護師が多い。

詳しくは http://www.shichiken.co.jp/median/kashika/kyouiku/kyouiku_1.html

※生命危機が切迫している重篤患者に対する医療。

「認定看護師として」

特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を備え、水準の高い看護実践のできる看護師を認定する日本看護協会認定看護師制度。認定分野も増えてくる中で、確実に看護師のキャリア形成のための魅力ある選択肢となりつつある。その先駆けとなった先輩看護師たちはどのように考えて認定を目指し、どのように現在の仕事に取り組んでいるのだろうか？



感染管理認定看護師 小野和代 看護師長
救急看護認定看護師 山下直美 看護師長

感染管理認定看護師 小野和代 看護師長

Q.認定看護師を目指したきっかけは？

A.認定看護師制度は1995年に発足し、年々認定分野が増えています。私は2000年に教育が開始された感染管理分野の1期生で、私を含めた18名が2001年に資格を取得しました。目指したきっかけは、実は予想外の配置換えでした。病棟から材料部に異動になり、そこで感染管理について興味を持つと共に系統立った専門教育を受ける必要性を感じたからです。

Q.現在はどんなお仕事をされていますか？

A.感染管理では、院内のセクショナリズムを打破し、組織横断的な活動することが求められます。従って現在は、認定看護師教育課程で体系的に学んだ専門知識だけでなく、習得したリーダーシップやコミュニケーション、プレゼンテーション能力を活かしたチーム医療に取り組み、院内全体の感染管理を担っています。

Q.後輩の看護師にメッセージは？

A.本院では、もうすぐ私に続く感染管理認定看護師が誕生する予定です。ぜひ皆さんも、日々の看護実践の中で「自分が目指す看護の専門性」を追求し、自分の道を見出し、目指してほしいと思います。私は東京医科歯科大学初の認定看護師です。前例がない中、周囲の方々の細かな配慮があって学校に行くことができました。東京医科歯科大学は、志を持つ看護師には全力でフォローアップする環境がありますから、ぜひチャレンジしていただきたいと思いますね。

救急看護認定看護師 山下直美 看護師長

Q.認定看護師にチャレンジした理由は？

A.私は学校卒業後、大学病院の救命センターに配属になり、救急ひとすじ10年で主任になりました。当時、看護でキャリアを磨くには、現場を離れ管理職になるか、研究畑に行くしか道がありませんでした。「第一線を離れたくない」という思いがあったので行き詰ってしまっただけです。同じくらのキャリアの看護師には同様の悩みを持つ人がいると思います。私の場合はこの制度を知って、現場における「実践モデル」となるのではないかと期待してチャレンジしてみました。

Q.認定看護師になって変化したことは？

A.考え方が大きく変わりました。私はそれまで救急で10年働いて、正直「もう得られるものはない」と思っていたのですが、学んだことにより「自分から何を求められるかを探す」という姿勢に変わりました。その気になれば学ぶことは数限りなく出てくるものです。これは私にとって大きな変化でした。

Q.後輩の看護師にメッセージは？

A.現在、私は「実践管理者」として、現場で職務に携わりながら、後輩たちの指導・育成に取り組んでいます。以前の私は管理者になることを避けていましたが、現在はこういう管理者としての道もあるのだと手応えを実感しています。私は、救急を目指す若い看護師の方に、「人間性」の大切さを伝えたいと思っています。現場では高い技術も学べますし、確実に実務を向上できます。しかしもっと大切なことは、病み傷ついて危機的状況にある患者さんにどう接するか、救急看護とは何か、それを常に問い続けることだと思います。私は東京医科歯科大学の救命救急を「人間性も磨ける場所」にしたいと考えています。

認定看護師とは

日本看護協会の認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、次の役割を果たします。

1. 特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。(実践)
2. 特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に指導を行う。(指導)
3. 特定の看護分野において、看護者に対してコンサルテーションを行う。(相談)

日本看護協会認定看護師のURL <http://www.nurse.or.jp/nintei/cen/>

■認定看護分野

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1: 救急看護 | 10: 不妊看護 |
| 2: 創傷・オストミー・失禁(WOC)看護 | 11: 新生児集中ケア |
| 3: 重症集中ケア | 12: 透析看護 |
| 4: ホスピスケア | 13: 手術看護 |
| 5: がん性疼痛看護 | 14: 乳がん看護 |
| 6: がん化学療法看護 | 15: 摂食・嚥下障害看護 |
| 7: 感染管理 | 16: 小児救急看護 |
| 8: 訪問看護 | 17: 認知症高齢者看護 |
| 9: 糖尿病看護 | |

特集 質の高い看護を目指して 看護師が自ら学び、成長できる環境づくり

「大学病院には、子どもから老人まで、また地位の高い人や著名人など、色々な人たちがいます。しかも皆病んだり傷ついたりして、心もデリケートな状態です。接する人の態度や言葉の一つひとつに配慮しなければなりません。まずは社会人、常識人であることです。心がどしりと安定していることも必要です。専門性やスキルは実践を積み重ねると身につきますから。」(小牟田)

「意外と思われるかもしれませんが、まずは現場を元気にすること、つまり看護師たちの満足度を高め、もちろん休みもしっかり取れるようにすることで心



「質の高い医療の提供を目指して」次世代の看護へ

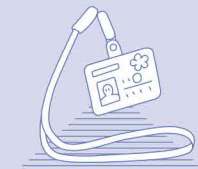
「質の高い医療の提供。」(全てはそのための取り組みだ。ここにはチャンスがたくさんあります。あとはそれを自分の手でつかむだけです。)(落海)

か、最も求められている臨床経験の豊富な看護師は、なかなか大学院で学ぶという余裕がないのが現実だ。こうした中で、臨床での実践が単位取得につながるという仕組みは、現状にかなった、合理的な方法だと言えるだろう。

「実は娘も看護師を目指しています。」(重吉)

「東京医科歯科大学は御茶ノ水の駅から徒歩1分。交通至便な立地にあり、患者さんにとっても大きなメリットとなっている。この駅を挟んで病院から徒歩5分の立地に、看護師専用の宿舎が完備されている。14階建ての高層ワルーフマンションで、掘を望むリバーサイドからの風が心地よい最高の立地である。正直こんな都心には、なかなか住めない。」

「2006年4月にはより手厚い看護体制と医療費の抑制を目指した診療報酬の改訂があり、看護職員1人が受け持つ入院患者数によって決まる入院基本料の区分が変更された。従来の「患者15人」「13人」「10人」の区分に加え、より受け持ち患者が少ない最高区分の「7人」が新設され、東京医科歯科大学ではこの「7人」の確保を行う方針だ。そのためには看護師7名の増員が必要だが、看護する側にとっても、される側にとっても、一人の看護師が受け持つ患者の数は、少ないほうが良い。」



を当てて患者さんを起こさないようにするのがけっこう大変。1時間半くらいの仮眠を取って、朝の6:00には患者さんを起こして、検温。夜勤明け、リフレッシュしたいときはスパに寄ったりするよ。ラクーア(後樂園)が近いから、けっこう行ってる。

上野 >夜勤明けは休みだからね。

岩本 >うん。休みはけっこうちゃんと取れるよね。完全週休二日制ということで。夏には1週間程度休みが取れるし。

上野 >大変だけど、やりがいはあるかな。

岩本 >私はもともと、身体を動かす仕事が好きだったのね。ガテン系?(笑)デスクワークは苦手かな。人と接しているのが一番好き。

上野 >私は、弟が大きな病気をしたときに、看護師になりたいって思った。大きな手術をした患者さんが「ありがとう」って退院していく時は、やっぱり一番嬉しいよね。

岩本 >うん。私はわりと患者さんにプレッシャーかけちゃうんだ。「早く退院してください!」ってね。もちろん患者さんの性格を考えた上でだけど。患者さんも目標を持って、頑張ろうって思ってくれるみたい。

上野 >患者さんが気難しい人だったりすると、最初はちょっと怖いけど、ちゃんとコミュニケーションすればね。病院を移ってきた患者さんで、構えていたら意外に気さくな人だったり。

岩本 >患者さんに接する時は明るく、笑顔で!(笑)そのためには健康第一かな。あとは、人と話すのが好きっていうのはポイントだよな。

上野 >まだまだ勉強不足だけどね。

岩本 >うん。毎日分からないことがたくさんある。

上野 >学校で勉強してきたことと、現場で必要なことはやっぱり違うよね。

岩本 >疾患とか、基本的なことはもちろん勉強したことが役に立つけど、求められることは毎日違う。人が相手の仕事だからね。

上野 >でも続けているってことは、仕事が好きってことかな。先輩とか、職場の雰囲気も明るいし。

岩本 >患者さんと一緒に、目標を持って(=退院すること)仕事に取り組めるってことは、大病院ならではのかもしれないね。まだまだこれから。頑張ろう!

上野 >うん。スローガンは「早く退院しよう!」これだね。



看護師宿舎をご紹介します

JR御茶ノ水駅・御茶ノ水橋口側出口から徒歩3分。14階建ての看護師専用宿舎は、女性限定で安心です。(男性には、付近に別途借り上げの宿舎があります。)駅からも近く交通の便が良いので、オフタイムも充実。銀座や新宿へは20分程度です。エントランスを入ると応接コーナーがあり、個室はワンルームタイプです。フローリング、大型収納、バス・トイレ別。快適なマンションライフを満喫できます。

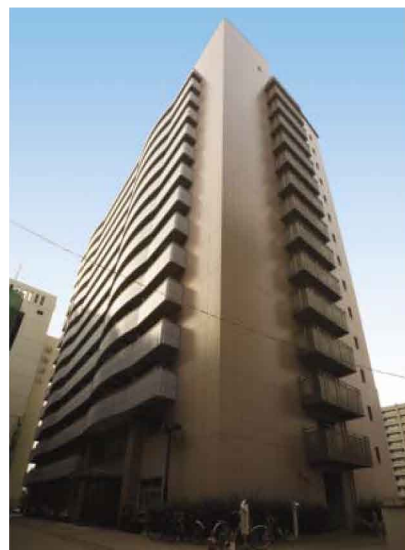
※入居に関しては空き状況によりますので、あらかじめご了承ください。



個室



ロビー



外観

看護師
チャットルーム

看護師の日常にフォーカス



▶外科・放射線科病棟 岩本美也子さん



▶泌尿器科病棟 上野祥子さん

外科・放射線科 岩本美也子さんが入室しました。

泌尿器科 上野祥子さんが入室しました。

岩本 >看護師になって1年とちょっと。同期のオリエンテーションで知り合って以来の仲よしだよな。

上野 >去年の今頃、新人時代は大変だったよね。先輩について、何をすることも確認して…。

岩本 >今はすっかり一人前(!?) 外科は急患が多くて忙しいけど、おかげで今はだいぶ肝が据わったかも。

上野 >外科は看護師の中でも希望者の多い科だね。

岩本 >やっぱり手術の患者さんが多いから、大切なのは手術の前に不安がないようにしっかり説明して、術後もきちんとごはんが食べられるように、歩けるようにしてあげることが大切だと思う。

上野 >患者さんには、術後できるだけ早く歩いてもらった方がいいんだよな。

岩本 >そう。筋力が弱ってると、お年寄りには特に歩けなくなってくるし、合併症や床ずれも起きて、手術の傷も逆に治りにくくなるから…。手術の翌日に「歩いて下さい!」って言うときすごく驚かれることがあるけどね。「えーっ!もう歩いていいの!?!」って。

上野 >患者さんも頑張ってくれるよね。病棟のつくりがドーナツ状になっているから、術後に病棟を一周する患者さんもいて、「すごいですね!」って。

岩本 >そう、「時には優しく、時には厳しく!」。患者さんは色々な性格の人がいるから、それぞれに合わせることも大切だよな。「あの患者さんはこんな性格。」とか、看護師の間でも情報共有して、できるだけ早く治るように、頑張ってくれるようにどうしたら良いか、考えたりしてる。

岩本 >ところで、最近忙しい?

上野 >日勤だと、朝から夕方まで、病棟を駆け回ってますね。朝は大体6:00くらいに起きて、7:00過ぎにはもう病棟へ。情報収集をしたりするうちに8:00の申し送り。8:30くらいから朝のお薬や点滴で、午前中は手術前の患者さんに時間をお知らせしたり、入室前のケア、その他の患者さんの清拭など。お昼は11:45から12:30位までお休みして、13:00には午後のお薬。平日は、14:00から15:00くらいまで、患者さんの病状や看護上の問題点など情報共有のためのカンファレンスを毎日やっています。その後検温などをして、一応定時は16:45。とは言っても定時に帰れることはあまりないよね。大体18:30から遅いと20:30くらいになることもある。まあ、家が近いからね。泌尿器科病棟は3交代なので、夜勤は15:45~23:30と、23:00~朝の9:00まで。あわせて月10日くらいかな。

岩本 >宿舎が近くていいよね。歩いて帰れるし。私も大体同じような感じだけど、外科は2交代だから、夜勤は16:00~朝の9:30まで。長いですよ。21:00の消灯後は、1時間ごとに懐中電灯を持って病棟を回るの。ライト

